

補助金・交付金 チェックシート (No.1)

補助金名 (交付金名)	在宅福祉ふれあい事業費補助金	開始 年 度	平成3年度
団 体 名	社会福祉法人函館市社会福祉協議会	団体等 の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 課税事業者 <input type="checkbox"/> 免税事業者
助成の根拠規定等 (条例・規則・要綱等)	函館市在宅福祉ふれあい事業費補助金交付要綱		

○補助事業の内容および目的・効果

内 容	概ね65歳以上の一人暮らしの者もしくは夫婦のみの世帯または心身の障がい等により日常生活に支障のある者がいる世帯などに提供する、在宅福祉ふれあいサービス事業、ボランティア地域援助活動支援事業、健康・生きがいづくり推進事業、在宅福祉ふれあい事業の促進に関する事業に対し補助している。
目 的	(目 的) 地域住民の相互扶助の精神と福祉意識の高揚、高齢者等に対する良き隣人関係の醸成を基本理念に、民生委員、町会関係者、ボランティア等による在宅福祉委員会を組織し、高齢者等が住み慣れた地域で、健康で生きがいを持ち安心して暮らせる地域社会の実現を図る。
・ 効果	(効 果) 函館市社会福祉協議会が実施主体となり、町会単位で設置している在宅福祉委員会において、在宅福祉サービスを実施することにより、高齢者等の自立促進と社会参加、交流の深化を図り、地域に根ざした在宅福祉活動による地域住民相互の助け合いや思いやりの心が育成され、より一層の地域福祉の増進を図ることができる。

○補助事業の収支状況 ※上段:補助事業等に要する経費 [下段]:補助対象経費 (単位:千円)

	年 度	助 成 金		事業収入	会 費	繰入金	計
		市	その他				
収 入	H29	42,375 [42,375]				3,575 [3,575]	45,950 [45,950]
	H30	42,899 [42,899]				3,566 [3,566]	46,465 [46,465]
	R元	41,843 [41,843]				3,449 [3,449]	45,292 [45,292]
	R2	36,597 [36,597]				2,866 [2,866]	39,463 [39,463]
	R3	36,786 [36,786]				2,887 [2,887]	39,673 [39,673]
	支 出	年 度	人件費	事務費	事業費	上部団体 負担金等	
支 出	H29	10,200 [10,200]	903 [903]	34,847 [34,847]			45,950 [45,950]
	H30	10,800 [10,800]	858 [858]	34,807 [34,807]			46,465 [46,465]
	R元	10,800 [10,800]	934 [934]	33,558 [33,558]			45,292 [45,292]
	R2	10,800 [10,800]	833 [833]	27,830 [27,830]			39,463 [39,463]
	R3	10,800 [10,800]	988 [988]	27,885 [27,885]			39,673 [39,673]

補助金・交付金 チェックシート (No.2)

補助金名 (交付金名)	在宅福祉ふれあい事業費補助金
----------------	----------------

○基本的視点の再チェック

基 本 的 視 点		適	不適	説 明
1	公益性 (明確な公益性があるか) ①広く市民生活の向上に貢献する事業 ②市民ニーズが高い事業	<input checked="" type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	地域住民の相互扶助の精神と福祉意識の高揚、高齢者等に対する良き隣人関係の醸成を基本理念に、民生委員、町会関係者、ボランティア等による在宅福祉委員会を組織し、高齢者等が住み慣れた地域で、健康で生きがいを持ち安心して暮らせる地域社会の実現に大きく貢献するものである。
2	必要性(補助しなければならない事業であるか)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	高齢者等の自立促進と社会参加、交流の深化を図り、地域に根ざした在宅福祉活動による地域住民相互の助け合いや思いやりの心を育ていく役割を担っている。
3	自主性(自主自立に向け努力しているか)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	各種事業や組織運営などは自主的に行われている。
4	有効性(他の手法ではなく補助することが、施策目的実現に最適か)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	地域性などによりそれぞれの在宅福祉委員会の活動等は画一ではなく、予算の執行についても柔軟な対応が必要とされる。

○財政的視点のチェック

財 政 的 視 点		不適	不適の場合の理由と今後の対応について
1	積算内訳は、前年踏襲となっていないか	<input type="checkbox"/>	
2	補助金等の使途は適切である	<input type="checkbox"/>	
3	積算基準は定められている	<input type="checkbox"/>	
4	補助割合は、補助対象経費の1/2以内である	<input checked="" type="checkbox"/>	地域住民の自主的な活動を支援することで、相互扶助と福祉意識の高揚を図り、高齢者等が住み慣れた地域で安心して暮らせる地域社会を実現するための経費であり、1/2を超える補助金を支出することとしている。
5	前年度繰越金は生じていないか	<input type="checkbox"/>	
6	自主財源の確保に努めている (最低でも前年度の収入を確保しているか)	<input type="checkbox"/>	
7	経常経費の節減に努めているか	<input type="checkbox"/>	

補助金・交付金チェックシート(No.3)

補助金名 (交付金名)	在宅福祉ふれあい事業費補助金
----------------	----------------

○補助効果の検証

(効果測定方法, 具体的な数値等)

- 在宅福祉ふれあいサービス事業 (ふれあいサービス事業, 家事援助サービス事業, 給食サービス事業, 訪問理容美容サービス支援事業)
- ボランティア地域援助活動支援事業
- 健康・生きがいがづくり推進事業 (世代間交流支援事業, 健康・生きがいがづくり教室開催事業)
- 在宅福祉事業の促進に関する事業 (協力員等の養成指導および研修事業, 広報事業)

(達成状況)

令和3年度実績

- ふれあいサービス事業 124委員会 5,298世帯
- 家事援助サービス事業 19委員会 133世帯/除 雪:44委員会 354世帯
- 給食サービス事業 会食会:70委員会, 238回/茶話会:48委員会 131回
- 訪問理容美容サービス支援事業 対象者:12人 ・ボランティア地域援助活動支援事業 30団体
- 愛のふれあい訪問事業 対象者:100名 1,437本 ・電話安否確認サービス事業 98回
- 世代間交流支援 4回 ・健康・いきがいがづくり教室開催 6ヵ所



(評価)	(理由)
十分効果をあげている <input checked="" type="checkbox"/> 一定の効果をあげている <input type="checkbox"/> 効果が疑問である <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/>	平成3年度に函館市社会福祉協議会が実施主体となり, 民生委員, 町会関係者, ボランティア等による在宅福祉委員会を組織し, ふれあいサービスや家事援助サービス等の事業を開始。平成5年度からは, 在宅福祉に貢献するボランティア団体への支援や生きがいがづくり等の新たな事業を取り入れるなど, 一層の地域福祉の増進を図っており, 今後も福祉発展の効果が十分期待できる。

○今後の方向性

<input type="checkbox"/> 現行のまま補助を継続	(見直しの内容) 必要な見直しや改善を図りながら, 経費節減に取り組む。 (見直しの時期) 令和6年度
<input checked="" type="checkbox"/> 見直したうえで補助を継続	
<input type="checkbox"/> 廃止	
<input type="checkbox"/> その他	

(廃止の理由)	(その他の内容)
(廃止の時期)	

○終期の設定

終期設定	<input type="checkbox"/> 終期到来により廃止	次回チェック年度(予定)
令和 6 年度	<input checked="" type="checkbox"/> 終期到来時に再検討	令和 6 年度